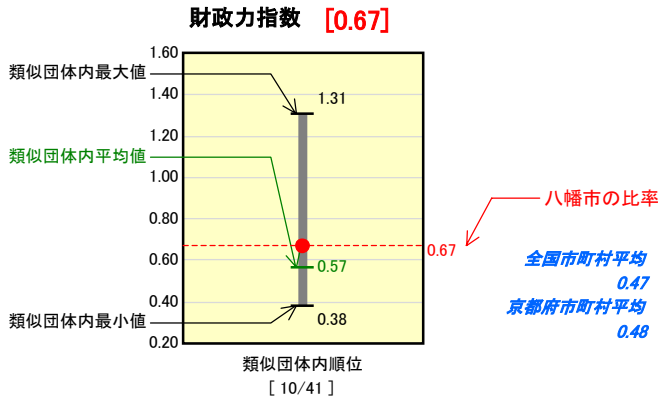


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

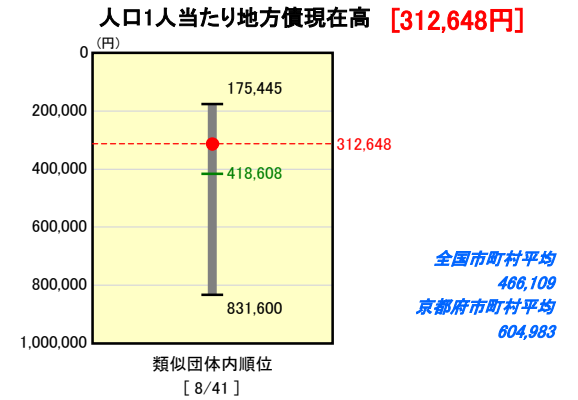
京都府 八幡市

人口	73,453 人(H17.3.31現在)
面積	24.37 km ²
歳入総額	23,157,104 千円
歳出総額	22,790,407 千円
実質収支	358,797 千円

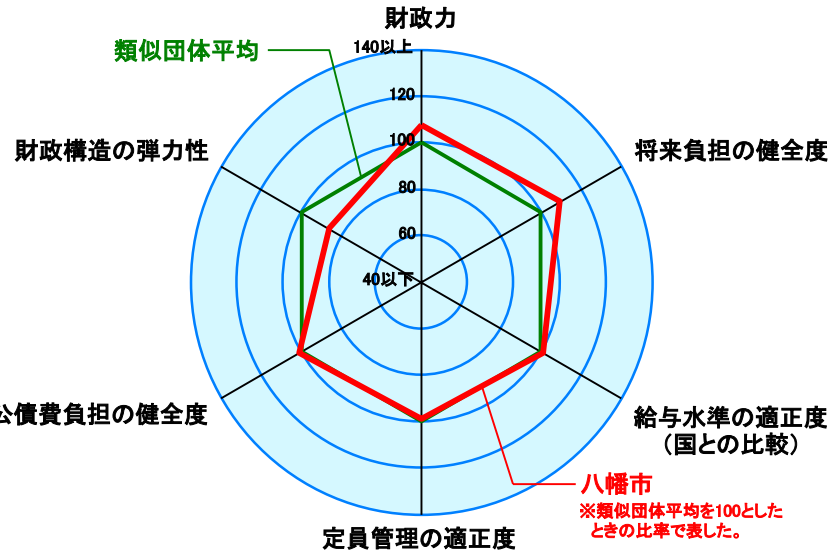
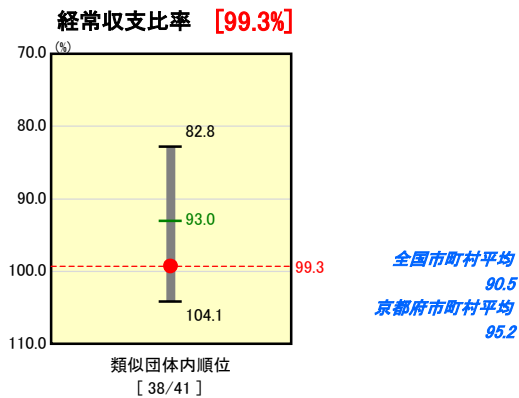
財政力



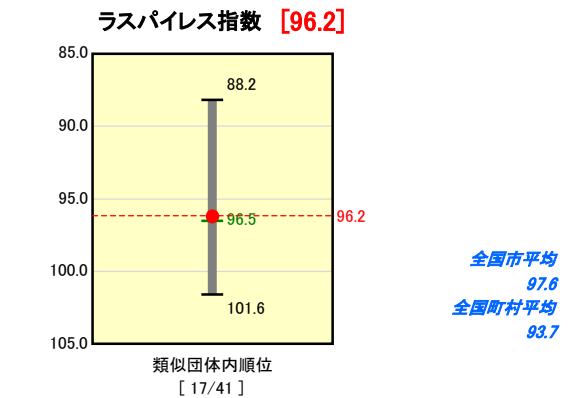
将来負担の健全度



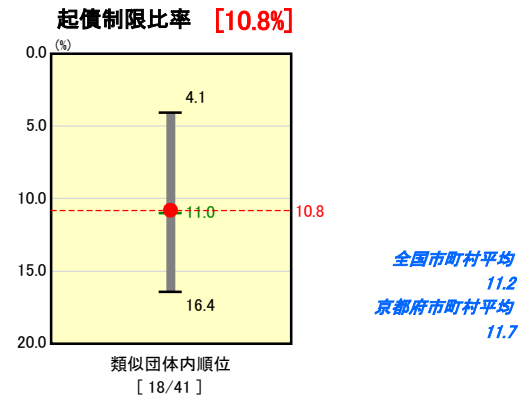
財政構造の弾力性



給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



分析欄

【経常収支比率】
昭和47年以降、人口急増とともに多様化したニーズに幅広く対応していくため、多くの公共施設整備と職員採用を進めてきた。そのため、類似団体と比較して、施設の職員数が非常に多く、人件費の割合を高めている。また、少子・高齢化や生活保護率の伸びが著しく、扶助費の増加が懸念される。今後、行財政改革実施計画を策定し、事務事業の廃止・縮小・統廃合を進めると共に、職員数の突出している部門の是正を図る。

【起債制限比率・人口1人あたり地方債現在高】
かねてより実施してきた大規模プロジェクトが、近年一定の完了をみていることから、新規の地方債借入れが減少したことに加え、繰上償還の実施などにより、起債制限比率及び地方債現在高は類似団体平均と比較して低い水準にある。しかし、公共施設の老朽化が著しく、施設の再整備が課題となっており、市民ニーズや社会状況に合わせた公共施設の再編・再配置を十分に検討し、実施する必要がある。

定員管理の適正度

